ヒアリングのポイント（案）

資料４

ヒアリングの目的

①被害の状況を明らかにする

- 勧誘された時の状況、勧誘者に対する印象、勧誘者による声かけの様子
- 具体的な話を聞いた場所、話の具体的な内容、被害金額
- 深みにはまった理由・状況
- 抜け出したきっかけ・理由　等

　←被害に遭った商法ごとに、質問項目は適宜変更

②被害に遭う際の心理的プロセスを明らかにする

- ①の各項目における被害者の心理・感情の動きを明らかにする